

山之口中学校だより

平成 28 年 7 月 11 日

校長 田上 幸雅

叱るということ、叱られるということ

先日、桂歌丸師匠が 50 年間出演し続けた「笑点」からの引退を発表しました。5 月 22 日放送の回が最後の出演だったそうです。歌丸さんが弟子を指導するときに心がけてきた言葉に、「褒める人間は敵と思え。教えてくれる人、注意してくれる人は味方と思え」というものがあります。

歌丸さんが中学生で噺家になってすぐに、師匠から言われた言葉だそうです。師匠の言葉は、こう続きます。「若いうちに褒められると、そこで成長は止まっちゃう。木に例えれば、出てきた木の芽をパチンと摘んじゃうことになる。それで、教えてくれる人、注意してくれる人、叱ってくれる人は、足元へ水をやり、肥料をやり、大木にし、花を咲かせ、実を結ばせようとしてくれている人間だ。」

実はホメるのは、指導する側にとっても楽な接し方です。注意したり叱ったりすれば、相手は反発したり腹を立てたりするでしょう。しかし、ホメておけば「いい人」と思ってもらえます。「叱られるのが苦手」な若者が増えていると言いますが、そんな若者たちを作っているのは、嫌われることを避けてちゃんと叱ることができない、無責任な大人たちにあるとも言えるかもしれません。



川遊びは危険です！

～ 保護者の皆さんへのお願い ～

夏本番を前に、今年も水難事故のニュースが報じられています。先月には、近隣の中学生在が川で溺れ、亡くなるという大変残念な事故がありました。

たとえ遊びなれた場所でも、相手は自然。いつなんどき牙をむいて襲いかかってくるか、大人でも予測ができないことがあります。

子どもの水難事故発生場所として、このグラフでも分かるように、河川が多い傾向にあります。

たとえ近所の川でも、自然の怖さをよく教え、大人の付き添いなしで水に入るような遊び方をすることはやめさせましょう。

また、子どもだけで川遊びをしている場面を見かけたら、必ずご注意くださいますようお願いいたします。

川遊びだけでなく、交通事故なども増える時期です。この機会に「命の大切さ」について、ご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。

